



# KUMAMOTO GREEN Rotary-Club



2013-2014年度  
テーマ

- 国際ロータリー 「ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を」 R.I. 会長 ロンD・パートン
- 地区方針 「良き友を得てロータリーを学び奉仕を实践しよう」 R.I. 2720 地区 ガバナー 赤山 武興
- 熊本グリーンR.C. 「魅力あるクラブにしよう」 熊本グリーンR.C. 会長 山下 隆生

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 隆生 ■幹事：河島 一夫 ■会報担当：長野 義文  
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

## 国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2014年4月7日】

第1126回  
 2013-2014年度 第33回  
 【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓



君が代(第1週のみ)  
 「友と語ろう」(ロータリーソング)

### 来訪者紹介

■ 卓話者  
 瑞鷹(株)副社長 吉村 圭四郎 氏(熊本RC)

■ 熊本グリーンRAC  
 荒木 優祐 君

### 友情の握手

会長スピーチ (山下 隆生 会長)

昨日は、「第2720 地区 地区研修・協議会」に参加するために大分の「ホルト・ホール」へ行ってきました。冊子にも修正がありましたが、地区協議会という名前が、地区研修・協議会へと変更になりました。次年度は、この「研修」ということにも力をいれて、研修こそが人材を作り、地区のレベルアップとなり、その研修の結果を実践することによって、地区を発展させるという意味もあるようです。次期本田研修リーダーのもと、この方式も本格的に展開されるようです。今回の研修・協議会には、クラ

ブ会員増強委員長としての参加でした。そろそろ次年度の田中会長エレクトの活動がスタートしたと感じ、私の会長年度もあと少しだということを実感しました。

会員増強の話は、例年と変わりなく新たな発見はありませんでしたが、各クラブの会員紹介で、女性会員の顔が多く見られたのが印象的でした。

地区研修サブリーダーの永田会員の「ロータリーへようこそ」というお話の中で、本田リーダーと城東クラブのメンバーで作った冊子をいただきました。

会員増強にあたり入会勧誘また入会後の新人会員の研修にも参考になるわかりやすい資料でした。来年度は、増強と退会防止ともに考えた研修を含んだ委員会にしたいと感じました。

もうひとつ、ロータリークラブ関係で、本日いらっしゃってる荒木優祐幹事が所属している熊本グリーンロータアクトクラブの例会に娘同伴で参加してきました。娘は、東京の大学に行っており今度4年生となり就活で悩んでおりました。わがアクトクラブにも就活やアクト例会が4月1日だったので会社入社一日目のメンバーもいているんな話ができようで、私以上にクラブの例会を楽しんでいたようでした。こういう場に娘と一緒に参加することがない私は、娘の成長を見ることができいい時間でした。また、休みの日にこちらへ帰って来たときには一緒に参加したいと思います。

卓話  
予定

【4月】～雑誌月間～  
 17日(木)熊本北RC・熊本グリーンRC合同例会 ※ 4/14(月)→4/17(木)例会変更  
 21日 熊本グリーンロータアクトクラブとの合同例会 「今年度熊本グリーンRAC活動報告」  
 28日 加藤神社 宮司 湯田栄弘 氏(外部卓話)

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

**幹事報告** (河島 一夫 幹事)

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本グリーンRC】

4月14日(月)の例会は、熊本北RCとの合同例会のため、4月17日(木)18:30より、熊本ホテルキャッスルにて行います。

<取止め>

次の例会を、定款第6条第1節に基づき、取りやめます。

【熊本中央RC】 5月2日(金)

**出席報告**

(中島 光司 クラブ管理運営委員)

(出席担当長)

	会員総数	26名	出席率
4月7日	出席免除会員数	1名	64.00%
	計算上会員数	25名	
	出席会員数	16名	
3月24日	前回の出席会員数	14名	75.00%
	メイクアップ数	4名	
	修正出席会員数	18名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3/16 地区大会 松村 君</li> <li>・3/31 熊本城東RC 大友 君</li> <li>・4/6 地区研修・協議会 山下(佳)君、蒼 君</li> </ul>			

**委員会報告**

①「4月卓話スケジュール」紹介

報告者:栗山プログラム担当長

\*別枠参照

②「フリーマーケット出品物」提供のお願い

報告者:荒木優祐君(熊本グリーンRAC幹事)  
 アクト活動費と不足備品購入の為に4月27日(日)にフードパル熊本にて開催の「フリーマーケット」に参加して物品販売を行う予定です。アクトメンバー内でも商品を集めていますが、ロータリアンの皆様にもご協力をお願い致します。21日(月)の「RCとRAC合同例会」の際にお持ち頂けたら幸いです。



アクト幹事 荒木 優祐君

\* 物品回収日程:4月21日(月)RCとRACの合同例会の日(キャッスル「例会場」)

\* 出品出来ない物: 飲食物、生き物 等

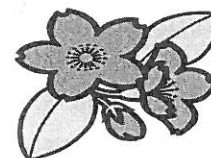
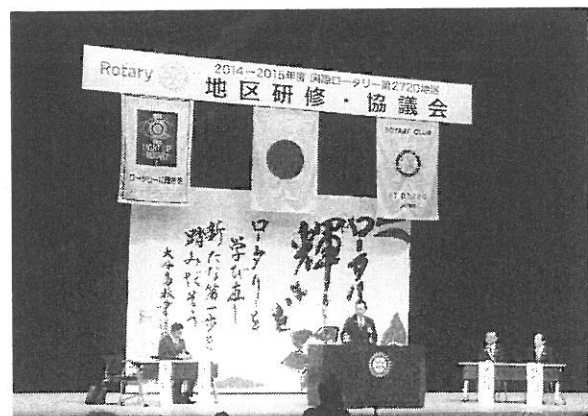
**その他の報告**

①「地区研修・協議会」の出席報告

報告者:田中純司会長エレクトが報告



地区研修・協議会の様子



4月 卓話スケジュール  
～ 雑誌月間 ～

17日 (木)

★熊本北RC・熊本グリーンRC合同例会

※ 4/14(月)→4/17(木)例会変更

(於:ホテルキャッスル 18:30～)

例会 18:30～

卓話 19:00～20:00

「働く人々のFine(ファイン)な人生をプロデュース！」

(株)Fine プロデュース 社長 広瀬美貴子 氏

懇親会 20:15～ (上通り「もっとも」にて)

21日

★熊本グリーンローターアクトクラブとの合同例会

「今年度熊本グリーンRAC活動報告」

28日

加藤神社 宮司 湯田栄弘 氏(外部卓話)

スマイル

蒼 孝之 クラブ管理運営委員(スマイル担当長)

●山下 隆生 君、河島 一夫 君

「本日の卓話者、吉村圭四郎様ようこそ私共のクラブに来て頂いて嬉しく存じます。乃木大将の話、楽しみです。」

●上田 観一 君

「本日の卓話者の吉村圭四郎さんに卓話をお願いしたところ、心良く引き受けて頂きました。ありがとうございます。今日は宜しくお願い致します。楽しみにしていました。」

●田中 純司 君

①「昨日は2014～2015 年度、地区研修・協議会に出席頂きました、次年度役員の皆様お疲れ様でした。次年度は宜しく願います。」

②「本日の卓話「乃木希典と熊本」吉村様、楽しみにしています。」

●趙 健次 君

「本日の卓話者、瑞鷹(株)副社長、吉村圭四郎様にスマイル致します。お店では大変お世話になっております。感謝しております。卓話聞けずに申しわけございません。所用の為早退致します。」

●荒木 一之 君

「本日の卓話者、吉村圭四郎様に心から感謝致します。」

●仙波 洋八 君

「吉村様の御来訪と卓話に感謝します。長年にわたって熊本県ロータリー奨学会のリーダーとしてご活躍に敬意を表し、今後共よろしく申し上げます。」

●大友 利行 君

「今日の、熊本RCの吉村様の卓話、楽しみです。スマイルで歓迎致します。」

●松村 秀逸 君

「昨日は、地区研修・協議会に出席されました田中エレクト他、の会員の方々お疲れ様でした。欠席致しまして済みませんでした。お詫びにスマイル致します。」

●中島 光司 君

①「本日の卓話者、吉村圭四郎様の我がクラブ訪問に感謝致します。」

②「昨日の地区研修協議会に参加された皆さんお疲れ様でした。」

③「昨週に続きジャイアンツ好調です。万歳原ジャイアンツ」

●河野 景治 君

「いつもお世話になっております。熊本RCの吉村圭四郎様のご来訪に心から感謝のスマイルを申し上げます。また貴重な卓話を賜りありがとうございます。」

●栗山 義則 君、蒼 孝之 君

①「卓話者の吉村様にスマイルします。」

②「昨日は地区研修協議会に出席された方お疲れ様でした。」

3. 例会プログラム

司会:(紹介者):上田観一 会員

卓話者:

瑞鷹(株)副社長 吉村 圭四郎 氏(熊本RC)



「乃木希典と熊本」

乃木希典という人については日露戦争の旅順攻略戦や、明治天皇の薨去に当たり静子夫人と共に殉死したことなどは有名ですが、熊本と縁が深い割には熊本でのことは余り知られていません。知っている人も西南の役(緒戦)に軍旗(聯隊旗)を奪われたことぐらいです。しかし2月22日に西南の役が始まって、官軍の本隊が26日に到着するまでの4日間、手勢わずか数百名の聯隊兵を率いて薩軍の先鋒の北上を

拒み続けた功績は、大きなものがあります。詳しくは配布致しました資料の本文を見て頂ければと思います。

(当日時間の関係で省略した写真家富重利平との交流について荒木精之氏の『富重利平伝』の一部を以下に紹介しておきます。)

熊本城攻防戦は五十数日間つづいた。四月十四日薩軍が囲みを解いて木山方面に撤退してようやく兵火はおさまった。利平は迎町の空地を借りて大竹の柱をほりこみ、仮屋を造り、白の金巾数反ををもって屋根として光線の調節をなし、一時の仮撮影場として業をはじめた。長崎の上野彦馬は西南戦争がはじまると、長崎県令北島秀朝の依頼で官軍に従軍、門弟の野口文一、薛信一を助手として人夫八人をひきいて戦跡を撮影したというが、熊本にきては利平の仮撮影場をたずねて久々に再開した。その頃はまだ乾板写しができず、撮影にひどく手数がかかっていたので、お互いに写真技術について新研究の交換をしたという。

その頃富重利平の迎町の仮撮影場に乃木希典中佐が直接やってきた。植木で連隊旗を奪られた時は少佐であったが、四月に中佐に進級していた。

「こんどの戦争で熊本は随分被害をうけた。その焼跡や病院内の状態を写真にうつしておきたいので三日間ほどおまえのからだをかしてくれ」

というたのみである。そこで利平は乃木中佐の行く先々についてゆき、城郭の内外や軍病院等数百枚をうつした。花岡山やまた城の石垣上から荒涼たる市街の焼跡をうつしたりしたのもこの時であろう。こう書くと読む人はいまの写真の手軽さを思ってさらりと読みながすかもしれないが、その時分はいまでも書いたようにまだ乾板写しの出来なかった時で、暗室から持ち歩かねばならず、従者の二、三人は連れて、それは難儀なものであった。乃木中佐は写真うつしがすむと利平に

「御苦勞だった。おまえも戦争で家など焼かれ、ひどい目におうて大変だったな。きょううつしたのをうんと焼増してくれ。金は一週にやっつく。この写真はこんどの戦争で怪我をした人たちの家族に送ってやるつもり。沢山の枚数だから長くかるだろうが、それでもかまわぬ。」

というて二百五十円という少なからぬ金を与えたという。その時乃木中佐自身も写真にうつっているが、利平はその温情によって、早く立直ることができ、こんどは塩屋町明十橋通りに引き移った。その時熊本の材木は非常に高価だったので、郷里の柳川まで建築材料を買いに人をやったという話もある。

後年、乃木大将が特命検閲使として熊本に来たことがある。乃木大将は利平の家とすぐ目と鼻の先の洗馬町の研屋旅館に宿泊したが、副官に名刺をもたせて訪ねさせ、「久しぶりに写真屋の主人に会って色々昔話をしたいが、このたびは陛下の御名代としてきているので私用では面会できぬ。残念だ。」と伝えさせた。その時の名刺が中佐時代の乃木さんの写真とともに富重家には大切に保存されている。

(吉村注:乃木氏が陛下の御名代として熊本に来たというのは、恐らく明治39年7月、第五、第六、第十二師管特命検閲使を仰せ付けられ、第六師団へ来たときのことと思われる。)\_

#### 4. 閉会・点鐘

